

こ
ん
に
ち
は

し も す わ 町 議 会

で す

三月定例会

VOL. 23 平成31年4月12日発行

♡♡♡♡ ここに注目 ♡♡♡♡

来年度 一般会計85億円、新規事業8.4億円…4・5P

任期締めくくりの一般質問……………9P～

伊東豊雄先生と君の夢を語ろう!!……………15P



今ではお餅つきも貴重な体験。腰、入ってる? 「社中学校 伏見屋邸プロジェクト」卒業お祝い

3月定例会で上程された30議案は、すべて原案通り可決されました。

★小中学校 冷暖房工事始まる

★製造業 設備投資活況で補助金増額

★後期高齢者医療保険納付金 増額

一般会計補正予算

今議会で一般会計補正予算は、第7号、第8号、第9号が上程され、いずれも原案通り可決されました。

平成30年度補正予算		千円	概要
第7号	補正額(歳入・歳出)	339,878	小中学校冷暖房設備
	繰越明許費補正	339,878	
	地方債補正	128,100	
第8号	補正額(歳入・歳出)	46,290	高木橋改良工事 ものづくり支援センター補助 及び交付金等
	繰越明許費補正	10,662	
	地方債補正		
第9号	補正額(歳入・歳出)	315,926	プレミアム商品券準備 国のH30補正予算赤砂崎公園整備 事業及び艇庫整備費交付金の内示
	繰越明許費補正	312,101	
	地方債補正	153,600	
平成31年度補正予算		千円	概要
第1号	補正額(歳入・歳出)	△310,489	平成30年度第9号補正予算との 重複計上ための減額
	繰越明許費補正	△153,600	
	地方債補正	△153,600	

第9号補正総額3億1,592万6千円のうち、赤砂崎公園整備事業と艇庫整備事業の2事業の補正額合計3億1,048万9千円については、平成31年度当初予算にも重複計上されていることから、平成31年度一般会計補正予算(第1号)にて同額の減額補正を行う。

小中学校冷暖房設置

第7号補正予算では、小中4校への冷房設備設置工事の早期着工に向け補正。平成30年度国の補正予算の成立に伴うもので31年度に繰越されます。財源は国庫補助金641万7千円、公共施設整備基金からの繰入金1億4760万5千円と地方債(借入金)1億2810万円。

特別会計補正予算

かさむ医療費

後期高齢者医療保険補正予算

後期高齢者医療広域連合納付金1513万7千円の増額補正は、被保険者数の増加が主な要因です。

質疑において、被保険者数は当初予算比50人増の4313人。平成29年度の医療費は1人約88万円で県内では11位。県平均は約82万7千円で平均を上回っている。平成31年度の保険料は1人約7万6000円を想定していることなどが説明されました。

討論では、やむを得ない状況だが、早期発見・早期治療を進めて医療費軽減に努めて欲しい、との賛成意見が出され、挙手全員で可決されました。

寄附金賜る

特養老人ホーム事業会計補正予算

施設費寄附金の4万円と、「ハイム天白」の整備充実のためにふるさとまちづくり寄附金として賜った6万円、合わせて10万円を特別養護老人ホーム福祉施設基金として積み立てるものです。



条例の改正など

総合運動場設置条例の改正

総合運動場管理施設改築工事が完了することに伴い、設置条例及び同使用料徴収条例を一本化する整備。陸上競技場にシーズン使用料が新設されました。またスポーツコミュニティセンター(旧管理棟)利用料が新たに設定され、有料となりました。

質疑では、以前は合宿の町として1万人の利用がありましたが、今は2千人を割る状況。町民利用と合宿利用の間で調整が必要です。

討論では、公共施設として有効に活用し、料金設定や減免について慎重に検討して欲しい、との意見があり、挙手全員で原案通り可決されました。



改築された
スポーツコミュニティセンター



★赤砂崎公園整備事業、 艇庫整備事業に国庫補助 ★総合運動場周辺リニューアル ★消費税増税に伴う条例などの改正

活発な設備投資に助成金

第8号補正予算では、工場や商業施設の新增設による新たな投資に対する商工業振興助成金344万円の増額。

障害者福祉費扶助費は、対象者の増加と利用者の重度化により2207万7千円の増額。また、JR高木橋の改良事業設計費として1066万2千円が計上され、31年度に繰越される等の内容です。

大型事業に国の補正内示

第9号補正予算では、国の30年度補正予算の内示を受けたことから、赤砂崎公園整備事業・艇庫整備事業を前倒しして補正するとともに、工期の関係から全額を31年度へ繰越すものです。いずれも31年度予算に計上済のため、31年度補正予算第1号で同額を減額。

消費税増税でプレミアム商品券

プレミアム付商品券事業は、国の30年度補正予算の成立に伴い、消費税率10%への引き上げによる、低所得者・子育て世帯への消費に与える影響を緩和するため「プレミアム付商品券」を10月に販売するもので、その準備経費を補正計上し、迅速かつ円滑な事業執行に繋げるため31年度に繰越します。

事業確定に伴う減額補正

水道事業会計・下水道事業会計

水道事業会計補正予算（第2号）では、資本的収入及び支出において、収入で3900万6千円を減額、支出で498万円を減額。主な内容は、事業費の確定に伴う減額や水道管移設工事における、県からの移設補償費等です。質疑では、当初6件の工事で予定が、技術的課題などにより2件先送りになったこと等の説明がありました。



架け替えが計画されている高木橋

下水道事業会計補正予算（第2号）では、資本的収入及び支出において、収入で6070万円を減額、支出では、6514万8千円を減額。いずれも事業費の確定に伴うものです。質疑の中で、入札による確定差額、国の補助金が当初より交付率が低かった等が説明されました。両会計補正予算とも挙手全員、原案通り可決されました。

消費税増税に伴う使用料など 条例の改正

消費税の引き上げに伴い、関連する6つの条例の税率などを改定するものです。公共施設の使用料などについては、総合管理計画の策定を31年度に行うことになっており、今回値上げせず施設の使用状況等の実態を見ながら、1年かけて検討。

消費税増税に反対なので、条例改正にも反対との討論がされましたが、賛成多数で可決されました。

職員の時間外労働上限の条例改正

働き方改革を推進するための法律の成立を踏まえて、職員の超過勤務命令を行うことができる上限を、原則1ヶ月について45時間、かつ1年について360時間等とするものです。

質疑では、年休取得は一人当たりの平均で30年度は6.9日。挙手全員で原案通り可決されました。

作業事故の賠償示談

追加議案の一つは、林道の維持管理の作業に当たっていた作業員の転落事故の賠償について、町の過失割合100%の内容で示談の内諾を頂き、後遺障害慰謝料等として約382万円で、全額を全国町村会総合賠償補償保険の適用を受け賠償費が支払われます。

57件に 8.4億円

水上防災拠点施設・
新艇庫整備事業 4億2487万円



災害時には水上輸送路、
平時には住民の憩いの場に。
内工事費は水上防災拠点 1億7270万円、
新艇庫整備 2億3958万円

水上防災拠点施設。
新艇庫整備事業が最大

中型バス車両 2691万円

排ガス規制で都内に乗り入れられなかった
旧中型バスを、新規車両へ更新。
29年ぶりに新しくなる。

一般会計・特別会計予算の審査概況

全会一致で可決した会計予算

国民健康保険 駐車場事業 交通災害共済事業
特別養護老人ホーム事業 東山田財産区の各会計予算

賛成多数で可決した会計予算

一般会計 後期高齢者医療 温泉事業 水道事業 下水道事業の各会計予算

反対意見

一般会計 ・水上防災拠点事業は、緊急時の湖上輸送の必要性・有効性があるのか理解できない。
・今回の移設による艇庫の場所で交通安全対策が十分なのかも疑問
・町債（借入金）が前年度比16%増、10.7億円という多さに不安

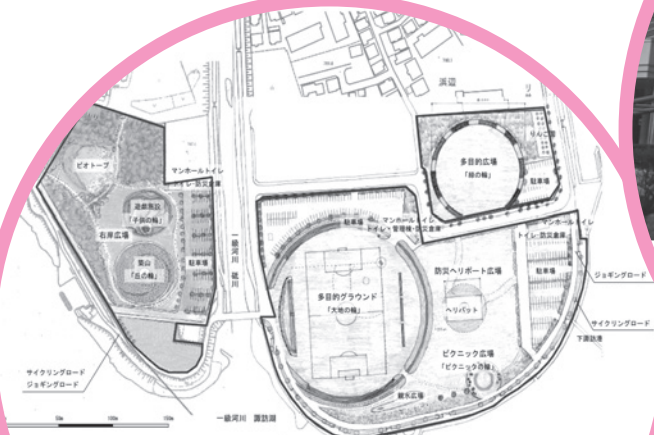
後期高齢者医療 ・保険料軽減特例の廃止による負担増が心配、低所得者を支えるべき

温泉・水道・下水道事業 ・消費税率UPに反対のため反対

平成31年度

一般会計
予算

総額85億円、新規事業



赤砂崎公園整備事業 1億6394万円

赤砂崎右岸用地の取得と右岸広場の遊具整備などでH31年度にほぼ完成となる。



各施設へのエアコン整備事業 4265万円

小中学校への整備に続き、保育園、学童クラブ、老人福祉センター、ぽけっとにも設置。



防災行政無線設備更新事業 1億1729万円

行政無線デジタル化に伴う屋外拡声局などの更新。写真はH30年度に完成した施設で、H31年度は26局が更新される。



八島高原公衆トイレ改修工事 7600万円
四ツ角駐車場トイレ等改築工事 5602万円

老朽化した八島湿原のトイレ改修を、洋式化と合わせ実施。又、四ツ角駐車場はトイレ改修の他にポケットパーク等周辺整備も行う。

消防ポンプ自動車購入事業 2351万円

25年経過した第7分団の消防ポンプ自動車を更新。H30年度に第2分団に納入した車と同じ規格。

陳情・意見書の審査結果

陳情第3号

陳情者 諏訪地区労働組合連合会

「消費税増税中止を求める意見書」の採択を求める陳情

不採択

暮らしや地域経済が深刻な状況の中、消費税が10%に引き上げられれば、住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与えることが懸念

されることから、今年10月の消費税率10%への引き上げの中止を、国に求める意見書の提出を求める内容です。

意見書案第1号

議員提案

今年10月の消費税増税中止を求める意見書

国へ

否決

陳情・意見書案に「賛成」

- ・消費税引き上げに反対する声、不安の声は多く、様々な世論調査でも反対が賛成を上回っているのが現状。こうした声に応え、10月からの消費税10%への引き上げの中止を政府に求めるべき。
- ・財源の不足を低所得者に負担の重い消費税に求めるのではなく、税金の集め方、使い方を見直す必要がある。

陳情・意見書案に「反対」

- ・社会保障の財源の確保のため、安定した税収を消費税に求めるのは、妥当。
- ・10%への引き上げと同時に、軽減税率も導入されるし、低所得者や子育て世代への支援も予定される等、充分配慮されている。
- ・家計にとって厳しいことだが、将来のことを考えれば、引き上げやむなし。

陳情第4号

陳情者 諏訪地区労働組合連合会

「米軍基地負担に関する意見書」の採択を求める陳情

全会一致で採択

意見書案第2号

陳情第4号の採択を受け総務経済常任委員会より提案

米軍基地負担に関する意見書

国へ

全会一致で可決

全国知事会は、沖縄県からの提起により平成28年11月に「米軍基地負担に関する研究会」を設置、その調査結果を基にして、平成30年7月に「米軍基地負担に関する提言」を国に提出しています。それは、日米安全保障体制は重要としつつ、日本における米軍基地の存在が、周辺住民の安全安心を脅かし基地所在自治体に過大な負担を強いてい

る点や、基地周辺以外においても艦載機やヘリコプターの飛行訓練等に伴う騒音被害や事故に対する住民不安があることを指摘。日米地位協定の見直しや、米軍機による飛行訓練のルートや訓練実施の時期・内容を事前に関係自治体へ説明・通告すること等です。その提言の早期実現を、国に求める内容です。

意見書案第4号

総務経済常任委員会より提案

特急「あずさ」をはじめとする在来線の利便性向上に向け着実な取組みの推進を求める意見書 国へ 可決

3月に行われたJR東日本のダイヤ改正は、下諏訪町における特急あずさの停車本数が大幅に削減され、上下それぞれ4本が停車するだけになりました。沿線住民の利便性の低下、観光・商工業への深刻な影響が、懸念されます。下諏訪駅への停車本数の復活や、複線化や線形改良による高速化等の要望実現のためには、沿線自治体、地域住

民、鉄道事業者の連携とともに国の積極的な関与も必要です。

この意見書は、国会及び政府に対し、地域社会を支える鉄道を最大限に活用し、地方の活性化を図るため、鉄道施設の整備などに対する支援・利便性向上のための助言や指導を、鉄道事業主に対して行うことを強く求める内容です。

意見書案第3号

陳情第5号の採択を受けて議員提案

核兵器禁止条約への日本政府の署名・調印と批准を求める意見書 国へ 採択

2017年7月7日国連において採択された「核兵器禁止条約」は、核兵器の開発、製造、保有、使用などを内容で、現在までに70ヶ国が署名・調印、22ヶ国が批准をしています。

昨年の国連総会では、条約への早期の署名・調印と批准を呼びかける決議が採択され、禁止条約

発効を求める国際社会の多数意思が改めて示されましたが、日本政府は決議案に反対しています。唯一の戦争被爆国である日本は、核兵器のない世界を望む国内外の広範な世論に応えるべきではないでしょうか。「核兵器禁止条約」への署名・調印と批准を、国に求める内容です。

陳情・意見書案に「賛成」

- ・核兵器廃絶は、世界的な流れ。その流れに背を向けてはならない。
- ・唯一の被爆国として、日本は率先して条約を批准すべき。
- ・国が決めることであっても、地方議会において様々な議論をすべき。

「核兵器廃絶には賛同するが、人道主義だけでは足りない」「国防に関わる陳情・意見書を地方議会で審議することは、なじまない」等の主旨で退席者あり。

議会だより

モニターアンケート結果

議会だよりモニターを12名の方にお願ひし、2回分のアンケートをいただきましたのでまとめて報告します。モニターは女性6名、男性6名。年齢は、30代2名、40代1名、50代1名、60代6名、70代2名です。

1. 以前は議会だよりを読んでいたか(初回のみ)

毎回読んでいた	5人
ときどき読んでいた	3人
あまり読まなかった	3人
読まなかった	1人

2. 興味を持って読んだ記事は

一般質問	17人
議長のつぶやき	16人
好きです しもすわ	12人
一目でわかる議決結果	11人
常任委員会の審査内容報告	8人

3. つまらなかった記事は

一目でわかる議決結果	5人
------------	----

議案内容が分かりにくい。同意・承認・可決の違いがわからない

委員会視察報告 4人

専門用語(ICT化・ペーパーレス議会など)が多くわかりにくい。

常任委員会の審査内容報告 3人

防災・減災の具体的内容がなく、ふるさと納税では金額が記されていない

採決結果一覧表 2人

4. 読んで思ったことは

文字が多すぎる	10人
写真・イラストが少ない	5人
専門的な用語が多くわからない	4人
ページ数が多い・少ないは双方あり	

5. 掲載した方がよいと思う記事は

- ・議案などを否決した場合、反対理由や意見を聞いてみたい

6. 議会の広報活動に対する意見・要望は

- ・若い世代を取り上げているのはうれしい
- ・良い広報誌にしようという努力が見える
- ・モニター制度は良いので、多くの人が参加すると良い

ご協力ありがとうございました。

一目でわかる議決結果 3月定例会

議決結果

議案番号	議案名と内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
1～2	固定資産評価審査委員会委員の選任・人権擁護委員候補者の推薦	同意(全員)
3	平成30年度一般会計補正予算(第7号)…2～3ページをご覧ください。	可決(全員)
4	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例…3ページをご覧ください。	可決(多数)
5	職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正…3ページをご覧ください。	可決(全員)
6	資金積立基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正…「公共施設整備基金」の充当できる範囲を拡大し、大型車両の購入にも使えるようにするための改正を行う。	可決(全員)
7～9	◆廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正 ◆水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部改正 ◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 以上すべて、平成31年度から新設される専門職大学の修了者に対する資格区分変更のための改正を行う。	可決(全員)
10	観光振興条例の一部改正…町が推進する街なみ環境整備事業との整合を図るための改正を行う。	可決(全員)
11	こども未来基金条例の一部改正…こども未来基金を新たに給付型奨学金制度に充てることができるようにするための改正を行う。	可決(全員)
12	総合運動場設置条例の一部改正…2ページをご覧ください。	可決(全員)
13	平成30年度一般会計補正予算(第8号)…2～3ページをご覧ください。	可決(全員)
14～17	平成30年度【後期高齢者医療特別会計・特別養護老人ホーム事業特別会計・水道事業会計・下水道事業会計】補正予算…2～3ページをご覧ください。	可決(全員)
18～27	平成31年度一般会計予算～平成31年度下水道事業会計予算…4～5ページをご覧ください。 ※うち、一般会計、後期高齢者医療特別会計、温泉事業特別会計、水道事業会計、下水道事業会計	可決(多数)
28	損害賠償の額を定めること…3ページをご覧ください。	可決(全員)
29～30	平成30年度一般会計補正予算(第9号)・平成31年度一般会計補正予算(第1号)…2～3ページをご覧ください。	可決(全員)

※主な議案の審査内容は、2～5ページをご覧ください。

陳情審査結果

陳情番号	陳情名	議決結果
3	「消費税増税中止を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択(少数)
4	「米軍基地負担に関する意見書」の採択を求める陳情	採択(全員)
5	「核兵器禁止条約への日本政府の署名・調印と批准を求める意見書」の採択を求める陳情	採択(全員)

意見書案議決結果

番 号	意見書案名	議決結果
1	今年10月の消費税増税中止を求める意見書	否決(少数)
2	米軍基地負担に関する意見書	可決(全員)
3	核兵器禁止条約への日本政府の署名・調印と批准を求める意見書	可決(全員)
4	特急「あずさ」をはじめとする在来線の利便性向上に向けて着実な取組みの推進を求める意見書	可決(全員)

※陳情・意見書案の審査内容は、6～7ページをご覧ください。

3月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています

議員名(議席順)	議決等結果	林	岩	小	森	青	中	田	金	中	河	藤	宮
議案番号等		元	村	池	安	木	村	嶋	井	村	西	森	坂
		夫	清	忠	夫	利	奎	彰	敬	光	猛	ス	徹
			司	弘		子	司		子	良		マ	
												エ	
第4号	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
第18号(一般会計予算)	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
第21号(後期高齢者医療)	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
第23号(温泉事業)	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
第26号(水道事業)	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
第27号(下水道事業)	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
陳情第3号	不採択	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×
陳情第5号	採択	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	○
意見書案第1号	否決	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×
意見書案第3号	可決	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	○

可決・採択に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「△」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

小中学校への スマホ持込禁止見直しは

デメリットも考えて
対応する

藤森スマエ

一般質問



3月の定例会の一般質問は、11人が行いました。質問時間は答弁を含めて一人60分以内です。

9P 藤森スマエ

「小中学校へのスマホ持込禁止見直しは」

10P 河西 猛

「学校・老福センターのエアコン設置は」

宮坂 徹

「下諏訪版DMOの方向性をどう考えるか」

11P 中村 奎司

「学校の防犯カメラ設置はどこに、何台か」

小池 忠弘

「町税減、起債増で財政状況は大丈夫か」

12P 中村 光良

「秋宮スケートリンク施設整備を考えて」

森 安夫

「先端設備等導入計画の認定状況、成果は」

13P 金井 敬子

「避難所運営キットの備えを」

岩村 清司

「国道20号バイパスの進捗状況は」

14P 青木 利子

「職員研修を行政サービスにどう活かすか」

田嶋 彰

「町内に就労する人材確保の取組みは」

Q 小中学生のスマホ所有状況、所持のデメリットは。
A 小中共に原則禁止。中学は体育学習に使う以外は職員室で預かる。利用ルールを設けてもいろいろな抜け道があり正しい判断が難しい。スマホ依存、スマホ犯罪、動画拡散などがある。ネット社会の協議は必要。
Q 教員の長時間勤務の実態、健康被害はあるか。
A 県の平均並み、有休は20日あるが5〜6日の取得。学校5日制になった時は県

の加配措置があった。健康被害の報告はない。
Q 授業以外でのオーバーワークはあるか、学力テスト関連では。
A 子どもの多様化に対する対応は増えている。学力テスト業務は1時間程度。
Q 各戸配湯の現状と温泉を観光に生かすことを真剣に考えるべきと思うが。
A 各戸配湯は年々減少、H30年1991口、加入率

温泉を下諏訪の目玉に

18%、観光では3湯めぐりチケットが好評で年間600枚の利用あり。
Q 高木温泉の復活は、温泉活用検討委員会の設置を。
A 地域コミュニティとして5区で検討されれば支援していく。温泉活用は広い視野を持って検討していく。
Q ポンプ操法大会中止か
A 辰野町、箕輪町の消防操法大会取りやめに対する受けとめと他への影響は。
A 団員確保の困難や団員

の負担軽減を図るために取り止めたが、諏訪地方大会は継続の方向。操法の訓練を通じて団員同士の結束が高まる。「団員確保強化月間」を設け町として全面的に協力していく。



訓練に励む消防団員

下諏訪版DMOの 方向性をどう考えるか

町を一体とした
組織体に

宮坂 徹

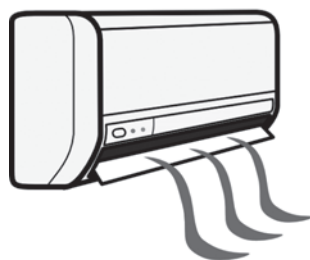
学校・老福センターの エアコン設置は

シーズン前に
設置完了する

河西 猛

Q 5年ぶりの観光振興計画(素案)で、事業推進・調整役はどこが担うのか。

A これまでの行政や観光事業者中心の旅行振興から、農・商・工業事業者や団体・住民が一体となり旅行者を受け入れる「観光地域づくり」が重要。関係者の合意形成を総合的にプロデュースする新組織を構築していく必要がある。将来的には新組織が全体を調整していく役割を担い、関係者と連携し、継続的・戦略的・効



Q 小中学校、保育園のエアコン設置工事は。

A 小中学校は夏までに設置する。児童クラブと保育園は新年度予算で進める。

Q 老人福祉センターへのエアコン設置と、ランニングコストは。

A 新年度に休養室、健康相談室、会議室二つに設置。ランニングコストの大幅増は想定していない。夏前に設置完了するよう進める。

Q 町内企業の景況状況は。

A 一年度の業況判断指数(DI)は10ポイントで12月度比8ポイント減。3ヵ月先の見通しはマイナス5で

Q 推進母体の候補組織として観光振興局を挙げているが、人材は足りるのか。

A 地域経営に関わる専門的な人材、組織の機能強化、資金確保も必要。議論を重ね、現在の観光振興局を発展させた形を想定している。

Q 個別目標が5年後だが一年ごとのPDCAサイクルの実施は。

A 個々の事業は毎年の数値をみて検証し、PDCA

活力ある産業振興を



推進母体の候補組織「観光振興局」

Q 外国人旅行者宿泊施設利用者数が、5年後に500人は少なすぎないか。

A 受け入れ態勢が必ずし

Q 防災行政無線の配備でデジタル式の優位点は。

A デジタル式回線は、音

Q 町内企業の課題は。

A 次の仕事を確保するための受注の確保、新規顧客の開拓、人材育成、新設備導入など。

安心・安全の防災更に

Q 災害用備蓄食料の状況は。

A 昨年度の家庭用あつせんと、今年度の各区への配備により、備蓄率が上がり、分散化が進んだ。新年度も各区への配備を進め、防災計画の備蓄目標「人口5%の2食分」を達成見込み。

Q 前年から提案等もしてきた。もっと早く対応すべき。

A 指摘の通りだが、各旅館も積極的になっている。意識をもって対応する。

Q 下諏訪版DMOの方向性は。

A 従来のDMOと違い、下諏訪をエリアとしてとらえ、様々な方々を一体に組織した、下諏訪らしい組織体としていきたい。



町税減、起債増で
財政状況は大丈夫か

健全財政は堅持できる

小池 忠弘



学校の防犯カメラ設置は
どこに、何台か

通学時に一人になる
区間に4台設置する

中村 奎司

Q 約4億2500万円の
水上防災拠点施設・新艇庫

艇庫移転の建設経緯は

Q 予算で町民税減少の要因は。さらに、起債(借金)は100億円を越す。健全な財政運営が保たれるか。
A 大手企業中心の業績向上は、高齢化で生産労働人口が減っている地方には波及していない。有利な起債を活用し、財政町政基金には手をつけず、計画的な財政運営は堅持する。

北小新生は1クラスだけ
Q 北小の新生1年生はH33年には1クラスになるというが、小中一貫教育校の検討とか、学区制の検討

Q 防犯カメラ設置の場所と台数は。
A 児童生徒を守る体制整備・犯罪抑止が目的。登下校中一人になる区間や、周囲に茂みがあるところを中心に、場所は東赤砂の農道・東山田熊野神社前など4か所に設置。

A 6年前、健康スポーツゾーン構想で「鍊成の家・艇庫改修」を提示。道路横



移転計画の艇庫

整備予算は、当初想定額を大幅に超える。その経緯は。

Q イオンの新店舗の計画と、第2ぽけっと計画の進捗状況は。
A 複数計画があり、図面を書くところまで行っているが、

A 4校制は維持するが、学区の変更など必要性を検討していかねばならない。
Q 移動販売の拡大を希望するが。
A 今回、社ヶ丘にも販売所を新設したが、希望される地区は区長を通して申し出てほしい。

Q 役員のなり手不足などから、区・町内会などの「地域コミュニティ」の運営が困難になってきている。町

自治組織へ支援策を

断でボートを出す危険性など、関係者の声を受け、「艇庫移転」が最良となった。県に費用負担を要望したが、ダメ。その後、護岸部を県負担、さらに地方創生拠点整備交付金・水上防災拠点施設整備事業で有利な起債が可能となり、事業化した。



西大路口交差点ここに幅16mの道路が拓く

砥川の改修事業の進捗は

ないという。当初の計画より遅れそうだが、第2ぽけっとも着実に進める。

Q JRダイヤ改正での特急停車減の影響は大きい。
A JRの「速達性をめざす改正。理解を」の姿勢は不変。①次回改正で元に戻してほしい②この改正による影響を可視化し協議の場を持つよう、申し入れた。

あずさ停車減問題は

も相応の支援策の検討を。
A 運営の大変さや負担は承知している。町としても区長会など何ができるか、検討していく。

Q 国道20号線の右折レーンと歩道の工事は。
A 用地取得を進めており、まとまった土地の取得ができれば、工事に入りたい。
Q 西大路口から7区へ向かう道路の進捗状況は。
A 2020年度完了を目指して進める。

Q 砥川と福沢川の改修はいつ終わるのか。
A 2020年度には完了させる予定で、地元住民との設計協議を開始したいという意向。

「先端設備等導入計画」の 認定状況、成果は

積極的な設備投資に
繋がっている

森 安夫

秋宮スケートリンク 施設整備を考えて

新年度で
補修を進める

中村 光良

Q 国の「導入促進指針」に基づき、中小企業者の「先端設備等導入計画」の認定をしているが進捗状況は。

A 製造業を主に10件認定した。ともに機械装置を導入する計画であり、先端設備等の導入金額は、合計2億1千万円を超え、設備投資を促す効果が現れている。

Q 「ものづくり支援センター」も「中小製造業社設備投資促進補助金」の活用状況は。

Q 今冬は天候にも恵まれ秋宮スケートリンクには小学生など約4000人が利用した。管理人のご尽力で上質な氷が維持された。手すりやベンチ、通路など老朽化が進み危険に思う。来シーズン迄に施設の整備を考えてほしい。

A 手すりや椅子などは木製で風雨にさらされ老朽化が進んでいる。管理はシルバー人材センターに依頼しており、部分的に補修を重ねてきた。手すりなどは新



東京ビックサイトにおける
下諏訪町企業の展示ブース

A 全21件の申請があり、補助金額の合計は、875万円。21件のうち、町の「先端設備等導入計画」の認定も得ている企業は8件。

Q 町保健センターの玄関は



今季の秋宮リンク
手すりの老朽化が見える

年度で補修を進め、来シーズンでの開場に備えたい。

**今予算における
住民満足度に対する考えは**

Q 町長の4期目の方針の柱として住民満足度100%を掲げているが、現時点で何%と考えるか。

A 住民満足度100%を目指すのが基本的な考え方。公約に残る第2の子育て支援センターはイオンの設計段階から参入し、開店に合わせ開所する。エコタウン構想も民間の発想等を取り入れ検討を進めていく。

は車椅子の人に優しいとは思えない。保健センターはバリアフリーの模範となる施設であるべきだ。スロープなど改善して頂きたい。

A スロープは有るが、土足厳禁のため板を被せて、注意喚起の看板を設置している。スロープを復活させ表示方法など検討する。

独居老人の住宅支援は

Q 9月議会で独居老人向け支援住宅が廃止された。代替策はどう考えるか。

**中学運動部の
部活に対する町の方針は**

Q スポーツ庁が中学校の運動部活の日数と時間に制限を設ける指針を示した。町内での対応は。

A 運動部は下中に9部活159人、社中に6部活80人。平日は週2日以上、週末は1日以上以上の休養日を設ける。長期休みではその半分以上を休む。スポーツ医学からも過度な練習は能力向上に繋がらない。個人個人に合った指導が大切。

観光で地域連携推進を

Q 2街道の合流点として和田宿や奈良井宿と連携した定期的な取り組みは。

A 中山道・甲州街道に限らず、縄文遺跡や黒曜石など含めて広域的に連携して観光振興に取り組んでいる。進捗状況を見ながら将来の形を考えていきたい。

国道20号バイパスの 進捗状況は



おおむね順調に
進んでいる

岩村 清司

「避難所運営キット」の 備えを



来年度準備していく

金井 敬子

Q この間、実施された指定避難所の「アセスメント調査」の結果と、今後は。

A この間、町の防災研修会に携わっていただいた法人からの協力依頼を受け、全指定避難所40箇所の収容予定人数、トイレ、食事対応等32項目の調査を実施。結果はとりまとめ中で、今後の参考にしていく。

来年度は、「避難所設置運営マニュアル」を作成、配布する予定。

Q 避難所開設にあたって

Q 国道20号下諏訪岡谷バイパスで第一工区の進捗状況は。

A 長野国道事務所が継続的に用地交渉、用地買収を進めている。用地買収は個々の問題はあるが事業に影響する大きな課題は特にない。岡谷長地区では地盤改良と盛り土工事が行われ、おおむね順調に進んでいる。

Q トンネル工事の着工はいつ頃になるか。

A トンネル掘削に向けて

の必要最低限の物品を、指定避難所に「避難所運営キット」として備え、それを活用した訓練も実施すべき。

また、指定避難所の毛布、水、食料、簡易トイレ、灯り、発電機等の備蓄拡充を。

A 避難所訓練を重ねながら、「避難所運営キット」を準備していく。備蓄品については、例えば毛布は町の防災倉庫に約1000枚を備蓄しているが、分散化の方がいいのか。他の品についても、今後検討していく。

地盤改良など行われているがトンネル掘削の着工時期においては分からない。

Q バイパスアクセス道路設計事業の内容、道の駅との関連は。

A ホシスメバと第9区へのアクセス道路として、又、将来の道の駅を視野に入れた予備設計を行う。

Q アクセス道路に関する窓口は。

A 町建設水道課国道バイパス推進室を中心として対応していく。



2月に町主催で実施された
避難所運営研修・訓練

Q 避難所の整備は、どこがイニシアチブを担うのか。

A 基本的には、町。

新艇庫 高すぎないか

諏訪湖創生ビジョンについて

Q 岡谷市・諏訪市・下諏訪町の行政が一体となって組合組織にして事業を推進してはどうか。



ゴミ拾いをしなくても良い諏訪湖に

Q 新艇庫建設に対して、町民に「反対」の意見有り。

A 昨年11月、12月に行った地元住民説明会で複数の意見や要望を頂いたが、それらは「反対の立場ではない」が前提だった。

Q 新年度予算4億2500万円もの高額な予算が計上されている。予算規模縮小は、できないのか。

A 艇庫に3億円。周辺の環境整備に、1億2000万円だが、決して余分なお金をかけるものではない。

A それは難しいと思う。2市1町の湖畔環境が違うことから各自治体がエリアを生かし活用することが望ましい。観光面においては、各市町村と連携してPRしていくことは必要。DMOの官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する方法もある。開発・整備は、各自治体が責任をもって行っていくことが良いと思う。

町内に就労する
人材確保の取組みは

若年層の
人材確保に重点

田嶋 彰

職員研修を行政サービス
にどう活かすか

職員交流で
レベルアップ

青木 利子

Q 当町に就労している外国人労働者の現状は。

A 住民登録されている外国籍の方は現在260人、内就労目的の方は語学教師等が7人、調理師等が3人、技能実習が32人、その他技術者が13人の計55人。町内に就労されている外国人の人数は把握できていないが、職業安定所へ届けられた外国人労働者数は1877人で事業所数は338事業所。長野県全体では外国人労働者を雇用する事業所は過去

Q 施政方針で「職員数218人でスタートし、各種講座・研修の実施や県や岡谷市との職員交流による人材育成を進める」としている。高い行政サービスに繋がることから、期待する。

「各種講座・研修の実施や県や岡谷市との職員交流による人材育成」で職員の皆さんは何を身につけ、どう活かすのか。

A 職員の人材育成や交流研修のため派遣。能力向上のため現在の岡谷市との相

最高の前年比10・6%。

Q 新たな外国人労働者受け入れ制度に対し町としての考えは。

A 現時点において町として具体的な役割などを判断する材料が揃っていない状況であり、今後、国や県の動向に注視していきたい。

Q 外国人労働者受け入れに対する施策や助成制度の検討は。

A 現時点においては施策や助成制度の創設は予定していない。

長野県との交流は平成12年度から行い、平成30年度



取得したスキルを活かす場

互交流は平成12年度から開始。平成30年度は2人、平成31年度も2人を予定。

Q 町内企業へ就労する人材確保の為の施策は。

A 人材の確保に向けては諏訪地域の合同就職説明会を定期的に開催し、就職希望者と企業とのマッチングの場の創出や諏訪地域の企



は1人を相互派遣し平成31年度も1人を予定。岡谷市への交流職員の報告は「慣れない環境の中で積極的に参加し、町と違う仕方を学びより良い方法を持ち帰り活かしたい」。

県への派遣職員からの感想は「6市町村や県下の自治体との折衝で苦労した。町から離れて町を再発見できた」。派遣先の部署からは「荒波に揉まれ会得したことを帰庁後の行政に、フイードバックしていくこと

業情報の提供を行っている。

Q 町内企業へ就労を希望する人材への助成制度は。

A 学生が一定期間企業等の中で研修生として働く就業体験に対して補助を行っている。また、岡谷市と共同で支援するウェルワーク諏訪湖にて町内の中小企業で働く従業員や事業主の方々を対象に共済給付、健康維持増進、レクリエーション、文化教養などの福利厚生事業の支援を行なっている。

を期待」。等があった。今後、横の繋がりに活かされと思う。

春宮前の駐車場について

Q 諏訪大社春宮前の空き地については商工会議所との懇談会の中で、交渉中があったが。

A 進捗は今のところない。

Q 屋台を活用し観光客へのアイスクリーム販売ができないか。

A 屋台販売を募集したが、応募はない。

伊東豊雄先生と 君の夢を語ろう!!



下諏訪町議会プロデュースで、

昨年暮れに、下諏訪町出身で世界的建築家、伊東豊雄先生と町内中・高生の皆さん21人との交流会を開催し、将来の夢や悩みなどをざっくばらんに語り合ってもらいました。

生徒の皆さんの夢や悩みなどの質問に、ご自身の体験や思いを交えて、丁寧に優しく答えていただき、楽しくも有意義な時間でした。

○想像力を

掻き立てられるときは

基本的には自然のイメージを建築にしたいと思っている。僕には諏訪盆地の原風景がある。今と違って「最上の美しい風景」があり、それを建築にしたいと思っている。



○仕事をしておかったことは



好奇心を持つこと。それと人のめぐり逢いが大切。先生でも友達でも。探して見つかるものではないが、必ず現れる。

○どうしたら

想像力豊かな建築ができる

自分でテーマなどを考えるが、人のアイデアを借りること。スタッフで考えを出し合い、皆で考えるとアイデアが膨らむ。

そこが面白いし刺激になる。建築はチームでする仕事。「オレが造った」



と思う人が多いと良い建築ができる。子供のころ好きだった野球と共通している。何でも役に立つ。



○国家試験に向けて、勉強に行き詰っている

先生に聞いてもらったほうが良いのでは(笑)。焦らなくてもいい。夢を捨てないことは大切。高校一年生なんだからまだ時間はある。もう少し広く考えてみたら。



議長のつづやき

議員定数を 削減すべきか



議長 林 元夫

子育てでは「頑張ったね」と褒めるのは良いが、「頭が良いね」と褒めることはだめだと言われます。才能ではなく努力を褒めて伸ばすと挑戦心が育まれ、才能すら伸ばせるような。

さて総務省見解において、議会のあり方として、2通りの考え方を示しています。多様性を重視したいろいろの意見を出出できる多数議員で構成される議会とチェック機能を重視した専門議員で構成される議会であります。多様性を重視した議会では、議論される内容が多岐にわたるものにするため、当然議員の削減は不可能と考えられます。そして専門議員で構成される議会は、能力のある少数の議員で十分だと考えられます。議員定数

を議論するとき必ず長所及び短所が問題になります。

私は、議会はチェック機能が最大の役目ですし、政策提言も大きな仕事だと考えています。どちらを優先するか……、違います。議員は住民の考えを代表して町政に反映する義務があります。どちらも優先されなければなりません。議員一人一人がスキル（能力）をあげてチェック機能を果たし、住民の意見を自分の中で醸成して政策提言をすべきだと思います。下諏訪町において今の委員会構成では、現状の議員定数がベストだと考えていますが、皆さんの考えをお聞かせください。議員も「頑張ったね」と褒めて欲しいものです。そうすれば……。

表紙写真

11年前に匠の町しもすわあきないプロジェクトの皆さんと杜中学校の生徒さんが、伏見屋邸を使って古民家学習を始めました。改修後も「伏見屋邸プロジェクト」として宿泊体験・伏見屋邸紹介パンフレット作成等の学習を重ね、三角八丁イベントで成果発表をしています。

毎年卒業式後に、匠の町・伏見屋邸の皆さんが集まって、卒業祝いの餅つきを行い、卒業生を送り出します。



好きです しもすわ



「下諏訪の風土」

ユン 雄大 (ホシスメバ住)

下諏訪を初めて訪れた際、風土という語を思い出した。神戸に生まれ育ち、東京で暮らし、震災後は福岡へ移住し、その間にも日本各地を巡って来た。

どこへ行くと言葉は通じ、全国展開されている店があり、流行りも共有され都市と地方とは今や大きな隔たりはなく、その土地ならではの色合いなど特になんか感じてしまう。

モノや情報の多寡といった表層で捉えようと、暮らしている土地の顔つきはばやける。けれども人の暮らしより遥か先からあった風土と、そこに溶け込んだ人の記憶や暮らしぶりという、必ずしも物理的に捉えられない、土地の佇まいに目を向けるとまた別の顔立ちが見えてくる。

まだ下諏訪で暮らし始めて3ヶ月余の身であれば、その相貌について細かく描写はできない。ただ、杜や川のせせらぎ、かつて多くが行き来した街道、道端から湧き出る温泉に、土地の息遣いを感じると、この地と吹き渡る風を好しく感じるの確かだ。

編集後記



モニターの皆さんのご意見も反映させ、紙面改善に努力してきた「議会

だより」も、今期最終号。頂戴した「読んだよ」の声が、私たちのエネルギーでした。

ご協力いただいた皆さん、お読みいただいた皆さんに、心から感謝申し上げます。(K・K)

広報特別委員会
委員長 宮坂 徹
副委員長 金井 敬子
委員 森 安夫
委員 青木 利子
委員 中村 奎司
委員 岩村 清司